

科学技術関係予算に関する 全体ヒアリング 資料

平成24年9月12日

総 務 省

目 次

ページ

①各省における課題とその課題解決に向けた主な取組	2
--------------------------	---

情報通信関係

②予算重点化の動き(前年度予算からの主な変更点)	4
--------------------------	---

③アクションプラン、施策パッケージ等への取組	6
------------------------	---

④各研究開発法人の戦略的な目標と目標達成のための重点的取組等	18
--------------------------------	----

消防関係

②予算重点化の動き(前年度予算からの主な変更点)	21
--------------------------	----

③アクションプラン、施策パッケージ等への取組	23
------------------------	----

科学技術関係予算全体の動き①

●各省における課題とその課題解決に向けた主な取組

情報通信分野の課題

我が国の成長基盤であるICTの徹底的利活用等を通じ、新市場・新産業を創出するとともに、世代地域に関わらず誰もが安心・安全な環境の下で積極的に参画できる社会の実現

日本再生戦略(平成24年7月31日 閣議決定)において、「環境の変化に対応した新産業・新市場の創出」のために、「科学技術イノベーション・情報通信戦略」の一環として、「情報通信技術の徹底的活用と強固な情報通信基盤の確立」が求められている。

同時に、ICT国際競争力が下げ止まらない、少子高齢化・エネルギー・安心安全などの社会的課題に対応できていない、情報量・トラフィックの増大などICTトレンドへの柔軟な対応が必要、などの指摘もなされている。(情報通信審議会答申「知識情報社会の実現に向けた情報通信政策の在り方」(平成24年7月25日))

このような中、例えば、多種多量のデータを収集・伝送・解析等を行うことが、社会的課題の解決につながるとともに、数十兆円の市場を創出すると期待されている。

一方で、現在のネットワークのままではそのような膨大な通信を取り扱えないことから、総務省として、国際標準化及び実用化を見据え、インフラ技術から運用技術までを一括して取り組む研究開発に新たに着手することとした。

このように、研究開発の実施に当たっては、世界共通のICT課題を解決すべく、実用化や早期の社会実装を見越して取り組んでいく予定。

消防分野の課題

南海トラフ巨大地震等の大規模災害における被害の軽減による安心・安全な社会の実現

大規模災害発生時に迅速かつ確実な応急対応を行うために必要となる消防活動の安全確保及び被害予測等に関する研究開発の実施

情報通信関係

● 予算重点化の動き(前年度予算からの主な変更点)

「科学技術に関する予算等の資源配分方針」(平成24年7月30日)を踏まえ、

1 「科学技術重要施策アクションプラン」の「復興・再生並びに災害からの安全性向上」、「グリーン・イノベーション」、「ライフ・イノベーション」に基づいて取り組んでいる研究開発事業については、着実に推進。

2 「重点施策パッケージ」については、

(1) 重点化取組⑨「能動的で信頼性の高い情報セキュリティ技術の構築及び実用化」を達成すべく、ネットワークの安心・安全な利用環境を実現するための研究開発を実施(経産省と連携)

(2) 重点化取組⑩「大規模情報(ビッグデータ)の利活用の基盤技術の開発・標準化・普及促進」を達成すべく、ビッグデータの収集・伝送を可能とするために必要となるネットワーク基盤技術の確立※に向けた研究開発に新たに着手(文科省、経産省と連携)

※平成19年度よりNICTが取り組んできた「ネットワーク仮想化技術」の成果の実用化

本研究開発は、「超高速・低消費電力光ネットワーク技術の研究開発」(平成24年度 グリーン・イノベーションアクションプラン登録施策)を包含した予算として編成

(3) 「ICT国際連携推進研究開発プログラム」(平成24年度 重点施策パッケージ登録施策)については、国際標準獲得のために、外国政府と予め連携することが有効な研究開発課題が増加していることから、大幅に増額

(参考)概算要求の概要及び予算重点化の概要

【平成25年度概算要求の概要】

1. 総務省におけるICT分野の科学技術関係予算の合計額は、558億円(前年度比較で40億円(7.7%)の増)。
2. そのうち、本省経費は271億円(同50億円(22.6%)の増)、(独)情報通信研究機構(NICT)に対する運営費交付金は287億円(同10億円、3.4%減)。

情報通信関係の平成25年度概算要求の状況(※1)

(億円)

	平成24年度 当初予算額	平成25年度 要求合計額	平成25年度 要求額	平成25年度 特別重点要求 ・重点要求額	平成25年度 復興対策経費 要求額	対前年 増減額	対前年 増減比
科学・技術関係予算 (情報通信関係)	518	558	425	102	31	+40	+ 7.7%
総務本省	221	271	138	102	31	+50	+22.6%
うちアクションプラン 提案施策	75	89	38	20	31	+14	+18.7%
うち重点施策パッケージ 提案施策	1	51	10	41	0	+50	51倍
(独)情報通信研究機構(※2)	297	287	287	0	0	▲10	▲3.4%

※1 計数はそれぞれ四捨五入しているため、合計が一致しない場合がある。 ※2 (独)情報通信研究機構の運営費交付金。

③アクションプラン、施策パッケージ等への取組

資源配分方針における位置づけ	施策名	実施者	平成25年度 要求額(億円)	平成24年度 予算額(億円)
アクションプラン提案施策(8件)				
復興・再生(3件)	災害時の情報伝達基盤技術に関する研究開発(p 7)	総務本省	31.0 [※]	20.0
	航空機SARによる大規模災害時における 災害状況把握(p 8)	総務本省	9.5	9.5
		NICT	25程度の内数	2程度
	電磁波(高周波)センシングによる建造物の 非破壊健全性検査技術の研究開発(p 9)	NICT	25程度の内数	1程度
グリーンイノベーション(4件)	戦略的情報通信研究開発推進制度(p10)	総務本省	18.5の内数	6程度
	世界科学データプラットフォームの実現(p11)	NICT	25程度の内数	3程度
	「フォトニックネットワーク技術の研究開発」及び 「超高速・低消費電力光ネットワーク技術の研究開発」(p12)	総務本省	20.0 ^{※※}	30.0 ^{※※}
		NICT	41程度の内数	38程度
	スマートグリッドの通信インタフェース標準化推進事業(p13)	総務本省	3.9の内数	2程度
ライフイノベーション(1件)	脳の仕組みを活かしたイノベーション創成型研究開発(p14)	総務本省	6.0	7.0
		NICT	14程度の内数	14程度の内数
施策パッケージ提案施策(3件)				
⑨「能動的で信頼性の高い情報セキュリティ技術の構築及び実用化」	【新規】能動的で信頼性の高い 情報セキュリティ技術の研究開発(p15)	総務本省	5.8	—
		NICT	15程度の内数	15程度の内数
⑩「大規模情報(ビッグデータ)の利活用の基盤技術の開発・標準化・普及促進」	【新規】ビッグデータによる 新産業・イノベーションの創出(p16)	総務本省	40.6 ^{※※}	—
		NICT	31程度の内数	—
(継続の施策パッケージ 該当する重点化課題なし)	ICT国際連携推進研究開発プログラム(p17)	総務本省	3.8	1.0
		NICT	32程度の内数	33程度の内数

※:復興対策経費として要求 ※※:重点要求として要求

